

南地域まちづくり 第17号 平成26年11月1日発 かわら版

平成26年度は『子どもにやさしい地域づくり』をスローガンとし、地域の皆さんから寄せられた情報をもとに、“安心・安全マップ”を作成しています。今回は、マップができるまでの活動内容を紹介します。

安心・安全マップ作成に向けた取り組み

6月：図面の作成、理事・まちづくり委員等による通学路現地調査



▲過去の事故箇所等の落込み

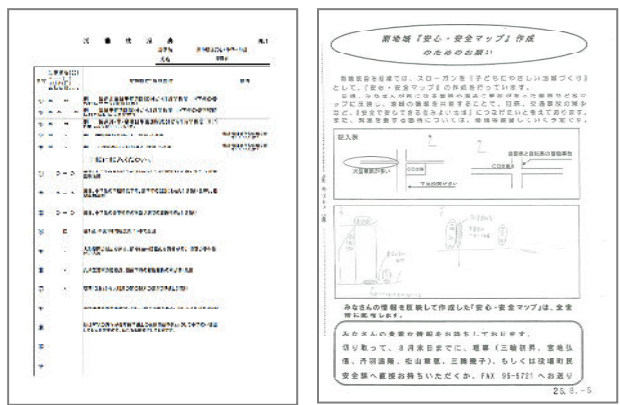


▲通学路現地調査

7月&8月：地域の皆さんからの情報提供、座談会の開催



▲マップ作成に向けての意見交換



▲地域の皆さんから情報提供いただきました

9月：まち歩き・ウォーキング大会



▲親子で通学路を歩き、危険箇所等を確認



▲子どもたちの声も集まりました

皆さん、ご注意ください！

集まった危険箇所の情報は**317件**。その一部をご紹介します。

丸栄工業前交差点付近



- 朝・夕の交通量が多く、車のスピードが早い
- 人目が少なく、物騒

国道 155 号線交差点ミニストップ前



- 信号が変わっても車が突っ込んでくる
- 下校時には大型トラックが多い
- ガソリンスタンド出入口で車との接触が心配

大栄橋（アピタ付近）



- 信号待ちの待機場所が狭い
- 交通量が多く危険
- 車が歩行者に気づきにくい

青山製作所前道路



- 信号が早く変わるので、通行しづらい
- 会社の出入口があり、トラックが多い

12月、『安心・安全マップ』完成予定

安心・安全マップ

イメージ



皆さんにお寄せいただいた情報を整理して“**安心・安全マップ**”を作成し、**全戸配布**をします。

このマップは、地域の皆さんに危険箇所等を知っていただくとともに、南地域自治組織では、集約した情報を元に、青色パトロールによる見守り活動や防犯対策等、地域の課題解決につながる活動をしていきます。